

日本看護協会、日本医療機能評価機構医療事故防止事業部、
日本医療安全調査機構医療事故調査・支援事業部、
日本医療機能評価機構産科医療補償制度運営部、日本訪問看護財団、
日本助産評価機構が、医療安全に関する最新情報を紹介します。

医療安全 トピックス TOPICS

Vol. 173

吉田 ちひろ

日本看護協会看護開発部看護業務・医療安全課

医療安全の確保・推進に向けた 2025年度の日本看護協会の取り組みについて

日本看護協会は、看護が提供されるあらゆる場での安全の確保と推進をめざして、事故の未然防止・再発防止の視点で医療安全事業の取り組みを進めています。本稿では、2024年度の主な取り組みを踏まえ、2025年度の医療安全事業を概観します。

● 2024年度の取り組みの概要について

2024年度は、事故の未然防止、再発防止に向けた取り組みを中心に行いました。

インスリンに関連した事故の未然防止に向けた注意喚起として、日本看護協会(以下：本会)では、現場の看護職一人ひとりがインスリンバイアル製剤の取り扱いや投与方法をあらためて見直し、意識の向上をはかるためのチラシとポスターを作成しました。また、本会が運営する「看護職賠償責任保険制度」では、毎年、看護職における賠償責任保険の意義や看護職の法的責任などをテーマに研修を開催しています。2024年度は「インスリンバイアル製剤の安全管理と法的責任」を、テーマの一つとして取り上げました。このほか、例年どおり、医療安全管理者の養成、「世界患者安全の日」や医療事故調査制度に関する取り組みなどを行いました。

2025年度も引き続き、「事故の未然防止・再発防止に向けた取り組みの推進」と「事故発生時ならびに事故の再発防止に向けた支援」を軸に事業を展開する予定です。以下に、実施予定の事業の一部を紹介します。

● 2025年度の医療安全事業について

1. 事故の未然防止・再発防止に向けた取り組みの推進

・「世界患者安全の日」に関連した取り組み

「世界患者安全の日」(9月17日)は、患者安全を促進することへの人々の意識・関心を高め、国際的な理解を深めるとともに、加盟国間の連携や行動に取り組むことを目的として、2019年のWHO(世界保健機関)の総会において制定されました。本会は2020年度から、本キャンペーンに参画しています。

2025年度も引き続き、本会ビルのライトアップ(キャンペーンカラーのオレンジ色)やポスター作成など、看護関係団体や患者会などと協働し、患者安全の推進および国民の意識・向上につながるよう呼びかけていきます。さらに、患者参画による患者安全を推進するための取り組み事例を、本会の公式ホームページで紹介する予定です。現場の皆さんの活動を、ぜひ本会までお寄せください。